

2026年2月22日(日)

## 信徒集会資料



この資料配布をもって提案とさせていただけるようお願いいたします。  
質問ある方は2/15(日)までに委員宛お寄せください。

### タイムスケジュール

(長くなる場合、所用がある信徒は途中退席ができます)

- 12:00 開会・祈り
- 12:05 寄せられた質問の回答
- 12:15 回答への質疑応答
- 司祭お話
- 閉会・祈り

# 1. 2025 年の振り返り

ニケア公会議から満 1700 年を記念する聖年であった 2025 年、わたしたちは第 6 地区の宣教司牧方針に沿い、シノドス的な在り方や行動としての取組みをより一層進めてまいりました。さらに加えて、『ラウダート・シ』を踏まえたカトリック教会のエコロジカルな展望について学び、わたしたちひとりひとりの行動変容を模索し始めました。小教区を越えた典礼研修会や環境セミナーへの参加、入門講座の継続と今年度新規開講、聖歌隊活動、子供たちや若者が集い交わる場-サマーキャンプ-の提供、さらには一粒会大会運営への参加など、わたしたち信徒が力を合わせて取り組み、確実な成果を共有できた 1 年間だったと思います。

また、昨年も新たな信徒の仲間を迎えることができました。今年のイースターにはさらに多くの受洗者をお迎えする予定があります。家族のメンバーが増えることは大変喜ばしいことです。外の世界に目を開き、新しい仲間を喜んで迎え入れて交わりの場を作っていく。小教区を越えて色々の人と係わり、学んでいく。そういったわたしたちの「雰囲気」-大磯イズム-が少しずつ定着し膨らみつつあることを、私は大変心強く感じております。

昨年 6 月の『希望の巡礼者』交流会で、山手教会の鈴木真神父がこうおっしゃいました。巡礼とは遠くの聖地を訪れることだけではないのです。人や物、自然との出会いの中で神の愛に触れ、気づくのも巡礼だし、どのような状況であれ、そこで神とのつながりを見出すとき、全てが「巡礼」になり得るのですよ、と。日常生活や決まりきった習慣、固定観念から一步外に歩み出て、神の愛に気づくこと。聖年を振り返り、わたしたちはその言葉の意味をもう一度反芻しながら、明日の素晴らしい教会活動-大磯イズム-を目指していきたいと思っております。

## 2. 2025 年 1 月～12 月 主な活動

### (1) 全体総括

- ① 教会運営全般-主日のミサ、復活祭、クリスマスのミサ等-を大過なく首尾よく行うことができ、コロナ前以上に活性化することができた。
- ② 入門講座を新規開講し、受洗希望者が増加した。
- ③ 大磯の多くの信徒が典礼勉強会や教区の研修会に積極的に参加した他、一粒会やサマーキャンプの運営に携わり、イベントの成功に貢献することができた。
- ④ 昨年に引き続き秋のバザーや、第 3 回目を数える 3 教会合同クリスマスキャロリングを成功させた。

### (2) 典礼関係

- ① 病者の塗油の訪問及び恵みの会での病者の塗油実施。
- ② 10 月 13 日(祝月)一粒会大会の典礼奉仕。

### (3) 宣教関係

- ① 入門講座
  - ・金曜午後講座:未信者 4 名、信者 2 名。
  - ・日曜午後講座:未信者 3 名。
  - ・勉強会:旧講座メンバー:月 1 回目処信徒 7 名。
- ② 木曜聖書勉強会:信徒 10 名前後。
- ③ 関係のあった未信者の方にクリスマスカード送付。
- ④ 教会学校サマーキャンプ協力。
- ⑤ 上智学生サマーキャンプフォロー。

#### (4) 広報(インターネット関係)

- ① 月次更新の継続(お知らせ、司祭ローテーションなど)。
- ② 信徒の専用ページ「大磯教会信徒のページ」を設置。
- ③ 教会の主なスケジュールを閲覧できる「行事予定」のページを設置(2ヶ月単位で閲覧できる紙版は聖堂内に掲示)。

#### (5) 福祉関係

- ① 6月21日(土) 於:鍛冶ヶ谷教会 第5地区および近隣教会福祉交流会。
- ② 9月14日(日)恵みの会を実施。約60枚の案内状と神父様自筆のカードを準備。ミサ中病者の塗油、その後信徒館で茶話会・ハンドベル演奏・軽食・30名参加。
- ③ 第6地区福祉部会、4/13(小田原教会)・10/26(小田原教会)・2/1(大磯教会)。
- ④ 毎月第4週に信徒交流のためのお茶会実施。

#### (6) 管理関係

[営繕] 教会施設、設備、植栽管理等の継続的改善。

- ① 庭植栽剪定作業の継続実施。石川さんとの契約下。
- ② 敷地内雑木の伐採及び適宜剪定作業。信徒による。
- ③ 信徒館玄関鍵の交換(キーボックス設置によりスペアキー不使用)。

[撮影]

- ① ドラマ撮影2件 CM撮影1件の実施

#### (7) 墓地関係

- ① 墓地管理費の改定、年間4,000円 ➡ 5,000円。
- ② 墓地ミサ11月16日(土)、送迎バス(22名乗車)。ミサ後、交流会開催(28名参加)。
- ③ 現地物置及び、トイレ改修工事。総工費906,400円(うち大磯分担金288,939円)。
- ④ 「合同墓地委員会」3月2日、11月2日 二宮教会にて開催。
- ⑤ 納骨式2件。

#### (8) テニス会

・週2回のテニス会開催。教会信徒5名、一般会員4名を主体に実施した。新規外部メンバー1名入会

#### (9) 第6地区共同宣教司牧委員会

- ① 目的
  - ・信徒・修道者・司祭が協力し、小教区を越えた地区レベルでの共同宣教司牧活動を推進すること。
  - ・地域に開かれた教会となるための話し合い・企画・実践を行う。
- ② 3つの部門
  1. 祈る力を育てる部門(典礼部会) <鈴木郁子・市原修身>
  2. 信仰を伝える力を育てる部門(宣教部会) <増澤忠・本田玲子>
  3. 神の愛を証する力を育てる部門(福祉部会) <松澤まり・平田久美子>
- ③ 運営会と全体会
  - 運営会**…司祭・教会委員長・各部門長・外国籍信徒・修道者で構成され、第6地区と小教区との連携が円滑に行われるよう活動する。全体会の準備や地区・教区行事への対応を行う。

委員長/岩城秀彦 宣教会長/増澤忠 事務局/藤林朋美

**全体会**…運営委員と地区委員の参加によって行われる。

地区委員 浅石奈津子/市原修身/鈴木郁子/本田玲子/平田久美子/松澤まり

④ 2025 年度の活動

❖ 運営会(8/31、11/30、1/31)

❖ 第 1 回全体会(5/18)

『ラウダート・シ・ゴールズ(LDGs)に取り組むための準備…ともに暮らす家を大切に  
する旅』をテーマとして霊における会話によって分かち合いを行った。

❖ 第 15 回横浜教区懇談会(9/27・28 軽井沢ご聖体のクララ修道院)

(第 6 地区から3名参加…松澤まりさんが参加)

❖ 第57回横浜教区一粒会大会(10/13) 函嶺白百合学園

❖ 第 6 地区環境セミナー(11/24): 平塚教会

テーマ『気候危機の現状とラウダート・シ～母なる地球に愛をこめて～』

❖ 青年部活動 12/28 に小田原教会にて年末バーベキューで交流

❖ 「霊による会話」地区研修会 3/7(日)10 時～ 平塚教会

⑤ 2026 年度の活動予定

❖ 第 1 回運営会(4/26) 国府津教会

❖ 全体会(5/31) 平塚教会

❖ 地区合同堅信式(11/29) 茅ヶ崎教会

## 2. 2026 年活動予定

### (1) 重点課題

- ① 小教区内外の動静や重要情報をいち早く全体に共有し理解を得ることを通じて、教会を信徒皆がより一層安心して意欲的に活動参加できるような場にしていきたい。
- ② 再開した入門講座や継続的な典礼勉強会、聖歌隊をはじめとした各種グループ活動を一層推進し、わたしたち信徒各自の啓発とお互いの結びつき、分かち合いに資することを旨とする。
- ③ 第 6 地区をはじめとした他教会との交流をより深め、また地域社会に対してもより開かれた教会を目指す。他者との交流促進によって、宣教司牧の姿を具現化していく。

### (2) 典礼関係

- ① 祭具、祭服の数量管理等。
- ② 月初にミサ準備のミーティングを行う。
- ③ 新たな典礼奉仕者の育成。

### (3) 宣教関係

- ① 木曜聖書勉強会継続。
- ② 入門講座継続。
- ③ 旧木曜入門講座勉強会(月 1 回)。
- ④ 教区サポートチームヘルパー養成講座に人選し派遣(継続性確保のため、全 22 回の 2 年分割案を事務局に打診予定)。
- ⑤ 大磯他教会合同キャロリング活動の発展継続。
- ⑥ 大磯オープンガーデンへの継続参加。
- ⑦ 結婚式などで繋がりができた未信者へクリスマスカード送付継続。

- ⑧ 三つ折りリーフレット再作成（旧原稿を元にミサ時間入門講座情報を更新）。
- ⑨ TV 露出の事実を教会 HP に掲載（権利関係回避の為、画像なし）。
- ⑩ Instagram 開設の検討（生け花・オープンガーデン等を対象）。
- ⑪ 聖歌隊・音楽活動強化検討：福祉施設の外部訪問、バザー等での演奏。
- ⑫ 聖堂開放時間の拡大：まずは聖堂を日曜午後も開放し午後 4 時～5 時頃に施錠する体制作り。
- ⑬ 「こじか」購読部数変更 2 部から 3 部へ増部。

#### **(4) 広報(インターネット関係)**

- ① TV 露出の事実を教会 HP に掲載していく(権利侵害回避の為、画像はなし)。
- ② Instagram 開設の検討(生け花・オープンガーデン等を対象)。

#### **(5) 福祉関係**

- ① 病者の塗油の自宅訪問を必要に応じて実施する。
- ② アシストフォンの管理と整備点検を行う。
- ③ 第6地区福祉部会への参加。

#### **(6) 管理関係**

[営繕] 教会施設、設備、植栽管理等の継続的改善。

- ① 信徒館、聖堂の外壁塗装工事を実施 4 月。
- ② 石川さんとの庭の管理作業契約を継続。
- ③ 信徒による雑木の伐採、剪定、落ち葉処理作業などの継続実施。
- ④ 施設の不具合の適宜チェック及び適正な対応。
- ⑤ 信徒館前の大松の枝打ちの検討。

[撮影] 内容を吟味したうえで基本的に協力することで教会財政に寄与する事。

[事務] 現信徒名簿の「補填」を発行。2027 年度に改訂版を発行予定。

#### **(7) 墓地関係**

- ① 墓地ミサ 11 月 14 日(土)10 時～ 開催予定。
- ② 「合同墓地委員会」3 月 1 日(日)、11 月 1 日(日)幹事 茅ヶ崎教会。

#### **(8) テニス会**

- ・週 2 回のテニス会を通じ健康増進および親睦を深めるため会員の増加を目指す。

### 3. 2025年度 信徒の動向

#### (1) 受洗・初聖体・堅信

マリア・セシリア 龍造寺 りな 4月20日

#### (2) 帰天者

アシジ・フランシスコ 清水 源三 6月7日 帰天  
テレジア 解良 公味子 8月4日 〃  
アグネス 内山 康子 11月14日 〃  
ラファエラ・マリア 飯島 禮子 11月28日 〃

#### (3) 転出者

ヨゼフ 長岡 英男 8月8日 岩国教会（広島教区）へ

#### (4) 付記

<在籍者> 235名（昨年）239名  
内訳 :男性:82名、女性:153名

<主日のミサ参加者数>年間平均 38名（昨年 36名）  
降誕祭 80名（昨年 79名）  
復活祭 76名（昨年 75名）